

食品ロスの削減に「フードドライブ」の取り組みを

質問者 小川龍美

日本では、まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」が年間約646万トン発生しており、その約半分は家庭から排出されている。フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を持ち寄り、それらを福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動である。町も、食品ロスの削減や未利用食品の有効利用を目指して「フードドライブ」に取り組むべきと考える。